

みずほCustomer Desk Report 2022/04/08号(As of 2022/04/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	123.66
TKY 9:00AM	123.72	1.0898	134.80	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	124.00	1.0936	135.50	1.3071	0.7505
SYD-NY Low	123.47	1.0865	134.49	1.3108	0.7519
NY 5:00 PM	123.98	1.0881	134.89	1.3053	0.7467
				1.3074	0.7479
NY DOW	34,583.57	87.06	日本2年債	-0.0400	0.00bp
NASDAQ	13,897.30	8.48	日本10年債	0.2300	▲1.00bp
S&P	4,500.21	19.06	米国2年債	2.4667	▲1.50bp
日経平均	26,888.57	▲461.73	米国5年債	2.7144	2.64bp
TOPIX	1,892.90	▲30.01	米国10年債	2.6635	6.69bp
シカゴ日経先物	27,100.00	▲50.00	独10年債	0.6785	3.30bp
ロンドンFT	7,551.81	▲35.89	英10年債	1.7265	2.40bp
DAX	14,078.15	▲73.54	豪10年債	2.9370	▲3.70bp
ハンセン指数	21,808.98	▲271.54	USDJPY 1M Vol	8.83	▲0.50%
上海総合	3,236.70	▲46.73	USDJPY 3M Vol	8.73	▲0.19%
NY金	1,937.80	14.70	USDJPY 6M Vol	8.55	▲0.15%
WTI	96.03	▲0.20	USDJPY 1M 25RR	0.05	Yen Put Over
CRB指数	294.579	1.44	EURJPY 3M Vol	10.30	▲0.19%
ドルインデックス	99.75	0.15	EURJPY 6M Vol	9.98	▲0.20%

【昨日の指標等】

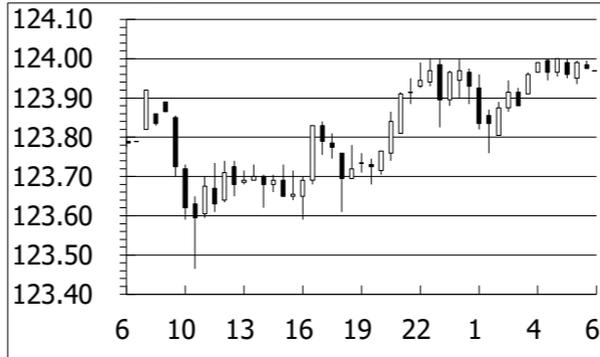
Date	Time	Event	結果	予想
4月7日	10:30	豪 貿易収支	2月 A\$7457m	A\$11650m
	14:00	日 景気一致指数・速報	2月 95.5	95.5
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 0.20%	0.20%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	2月 0.30%	0.50%
	20:30	欧 ECB議事要旨	「7-9月利上げの可能性も」	
	21:30	米 新規失業保険申請件数	2-Apr 166k	200k
	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	「5月FOMCでの50bp利上げ支持」	
4月8日	03:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「中立的な政策への回帰」ハト派よりの発言	

【本日の予定】

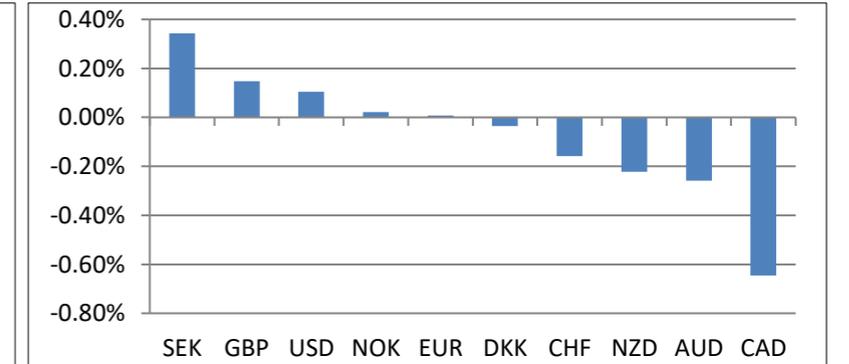
Date	Time	Event	予想	前回
4月8日	08:50	日 経常収支	2月 1450.0b	-1188.7b
	20:30	欧 ストウルナラス・ギリシャ中銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	2月 2.10%	2.10%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	2月 0.80%	4.00%

東京	東京時間のドル円は123.72レベルでオープン。一時123.47をつけるも前日安値水準では下げ渋る展開。材料も薄い中で目立った値動きもなく123.47-74の限られたレンジでの推移となった。海外時間へは123.69レベルで渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、123.69レベルでオープン。米金利が堅調に推移したことを受けてドル円も買われる。123.95円まで上昇し123.93レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0928レベルでオープン。1.09を挟んだ値動き。朝方フローと見られる動きでユーロがポンドに対して下落。対ドルでも1.0865に低下。その後買い戻され結局1.0912レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は123.93でNYオープン。朝方発表された米失業保険の新規申請件数は予想以上に改善したが、継続受給者数が予想以上に増加しており、強弱まちまちの結果に市場の反応は限定的。米長期金利の上昇が続く中、123円台後半で底堅く推移し、124円ちょうどをタッチする場面もあったが、前日高値(124.05)付近で上値が抑えられた。午後は新規手がかり材料が乏しい中、高値圏で小動き。終盤も動意乏しく、結局、123.98でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.0900近辺からのじり高推移でスタートするが、1.09台半ばでの上値の重さが意識されると1.0865まで反落。早朝に公表されたECB議事要旨で「多くの委員は正常化に向け一段の措置を直ちに求めた」、「夏に資産購入が終了なら7-9月の利上げに道開く可能性がある」などの見解が伝わるとユーロ買いで反応し、1.0912でNYオープン。朝方は早朝の流れを引き継ぎ1.0936まで上昇。しかし、海外時間高値(1.0934)付近で上値が重くなり、1.0900付近まで反落。午後は米長期金利が2.65%付近の高水準を維持する中、ユーロドルはじりじりと下落。1.0868まで下落するが、海外時間安値(1.0865)手前で売りが一巡。終盤は小幅反発し、結局、1.0881レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	123.50-124.50	1.084-1.094	134.50-135.50

【マーケットインプレッション】

東京時間のドル円は123.72レベルオープン。朝方123.92まで上昇していたが、前日のFOMC議事録から端を発した株安や米長期金利低下を背景に、一時123.50を下抜けた。このレベルでは下支えの買いが入ったものの、その後は手掛かり材料難から方向感を欠く展開。ロンドン時間に入ると、米長期金利が上昇したことでドル円も買われ、一時124.00を付ける場面もあったが、方向感を欠く展開は継続して123.80台~124.00のレンジで推移し123.98でクローズした。尚、改善を見せた米失業保険申請件数やFRB高官らの発言はサプライズはなく、反応は限定的であった。本日のドル円は、124円前後で方向感を探る展開となりそうだ。FOMC議事録でタカ派姿勢が観測されたものの、市場では織込まれつつある。本日は週末を前に持ち高調整による動き主体と思われるが、引き続きウクライナ情勢等のヘッドラインには注意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・松木